



～地域とともにある学校をめざして～

鯔コミ

R7年度 CS通信No.12 R8.3.2



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

西海小で収穫祭・餅つき大会(2/12)



収穫祭というのは、5年生児童が植えて収穫したもち米を使ってもちつきをする行事です。

この日は、西海自然塾の菊谷さんが杵と臼を準備し、学校支援ボランティアの皆さんが10名程集まり、前日の準備から今日の作業、終了後の後片付けまで協力して手伝いをしました。

全校児童が3回程度もちつきをして、できた餅を食べやすい大きさに切って丸めていきました。

できた餅は、きな粉餅にして食べたり、お雑煮に入れたりして食べました。

こどもたちに感想を聞くと、

「もちつきは怖かったけど、やってみたら楽しかった。またやりたいです。」

「餅をつく時の音がいい音が出た。」

「6年生最後の餅つきで楽しかった。地域の皆さんありがとう。」

と、話していました。また、木村校長先生からは、「このような行事ができるのは、地域の皆さんの協力のおかげです。昨日からの準備もあってできました。これからもこどもたちの成長を見守ってほしいです。」と、感謝の言葉がありました。

「鯔ヶ沢のうつりかわり」について学習 (舞戸小3年生)(2/20)

今回は、ふるさと学習の一環として、「鯔ヶ沢のうつりかわり」について学習しました。

講師は、教育委員会総括学芸員の中田書矢氏です。中田氏は、こどもたちに、過去の資料を比べさせ、町の交通や施設、人々の暮らしの時代ごとの違いに着目させ、町の人々の生活の変化につい

て考えさせました。

こどもたちは、学校が昔は木造校舎であったことや学校の場所の違いに気づくことができました。また、役場や病院は、今ある場所とは違うところにあったことがわかりました。



次に、昔の道具の実物を見て、使い方について調べました。わらの深靴、ぞうり、ランプ、カメラ、電話、さおばかり、つば釜、防空ずきん、アイロン、スケート等を手に取って見て、電気やガスがなくても使えること、手づくりのものが多いことに気づきました。

第3回学校運営協議会開催(2/24)



令和8年度の学校運営方針が、各小中学校長から示され、委員全員が承認しました。

3校のうち、鯔ヶ沢中学校では、めざす学校像として、「子どもや教職員、学校に関わるすべての人を主語とした笑い声が絶えない笑顔あふれる学校～家族のような穏やかで温かい癒しの場所に～」を掲げました。

また、新たな取り組みとして、部活動の地域移行や、制服のモデルチェンジにともなう「生活の心得」の改定等を予定として示しました。